

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

20196

学校図書館充実事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	1	生涯学習の推進
取組方針	1	生涯学習の啓発と機会の提供

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計			
	款			
	項			
	目			
	大事業 中事業			

事業種別	継続	関連個別計画	第2次和歌山市子供読書活動推進計画、第2次教育振興基本計画		
事業年度	令和2年度～	担当課・担当課長・Tel	読書活動推進計画	井上 豊英	435-1165
事業実施の根拠法令	図書館法	関連課	学校教育課 等		

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	公立小中学校の全児童生徒の多様な読書活動を一層充実させるために、学校図書館に司書の配置を進める。		学校図書館の環境整備、学習活動支援、学校と市民図書館の連携調整などを行い、学校における読書活動の充実を図る。			
事業内容	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	学校司書は、1人で4校を受け持ち、各校において学校図書館の環境整備、読み聞かせやブックトーク等の読書活動に係る支援、公共図書館からの団体貸出の手続き等を行った。また教員や図書ボランティアとの連携も積極的に行った。	学校司書は、1人で3校を受け持ち、各校において学校図書館の環境整備、読み聞かせやブックトーク等の読書活動に係る支援、公共図書館からの団体貸出の手続き等を行った。また教員や図書ボランティアとの連携も積極的に行った。	学校教育部教職員課から教育学習部読書活動推進課へ事業移管。学校司書3人と読書活動推進課司書1人、計4人で14校を受け持ち、学校図書館の環境整備、読み聞かせ等の読書活動に係る支援、公共図書館からの団体貸出の利用促進を図った。	学校司書4人と読書活動推進課司書1人、計5人で20校を受け持ち、各校において学校図書館の環境整備、読み聞かせやブックトーク等の読書活動に係る支援、公共図書館からの団体貸出の利用促進を図る。また教員や図書ボランティアとの連携も積極的に行う。	学校司書5人と読書活動推進課司書1人、計6人で24校を受け持ち、各校において学校図書館の環境整備、読み聞かせやブックトーク等の読書活動に係る支援、公共図書館からの団体貸出の利用促進を図る。また教員や図書ボランティアとの連携も積極的に行う。	

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成30年度		平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	0	0	0	0	6,808	8,841	11,845	0	11,845	0	
伸び率(%)	0%	0%	0%	0%	0%	0%	74%	△100%	0%	0%	
人件費	正規職員	0	0	0	0	17,517	17,198	15,765	0	15,765	0
	正規職員以外	0	0	0	0	8,278	7,455	9,319	0	9,319	0
	小計	0	0	0	0	25,795	24,653	25,084	0	25,084	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	22	23	0	23	0	
一般財源(税等)	0	0	0	0	6,808	8,819	11,822	0	11,822	0	
所要人数(人)	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	2.20	2.16	1.98	0.00	1.98	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	3.82	3.44	4.30	0.00	4.30	0.00
主な予算内訳	令和2年度当初予算：人件費6,808千円										

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標	司書配置人数	人	目標値	1	1	6	6	6
			実績値	1	1	4	5	6
			達成度(%)	100%	100%	66%	83%	100%
成果指標	司書配置校数	校	目標値	4	4	24	24	24
			実績値	4	3	14	20	24
			達成度(%)	100%	75%	58%	83%	100%
成果指標			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	令和2年度は、令和元年度から比べると実質的に学校司書を3名増員したため、14校の学校図書館の環境整備を行えた。新型コロナウイルスの影響で6月まで休校であったが、その間は整備中心に取り組み、2学期からは子供が気軽に本を手にとれる環境づくりと授業テーマに関連する本を提供するなど、学校図書館を活用した学習活動の充実に貢献した。
見直し・改善内容	令和3年度は更に学校司書を1名増員できたことで当課の司書1名をあわせ合計5名で20校の小中学校を受け持ち、担当する学校教員や図書ボランティアとともに、学校図書館の環境整備、読み聞かせ、ブックトーク等の読書活動にかかる支援、公共図書館からの団体貸出の手続き等を行う。